卒業後の進路と希望

釧新奨学賞受賞者の活動報告

－1－

白糠高3年　阿部眞稀子

このたびは釧新奨学賞をいただき、誠にありがとうございました。釧新奨学賞は、釧根地方の精神文化を高め、明るく豊かな郷土づくりへの願いを込めて設立された、伝統ある賞です。受賞に当たり、私自身はもちろんのこと両親も心からうれしく思うとともに、これからは地域に役立てる人材にならなければならないと身の引き締まる思いです。

私は高校2年生のときから生徒会長を務めました。その中で「人前で話すこと」「話し合いをまとめること」など、貴重な経験をすることができました。そのような得がたい経験を、卒業後の生活に役立てたいと思います。

私は4月から、白糠町内で銀行員として働きます。仕事について一つでも多くのことを積極的に学び、同僚の方々と力を合わせて仕事をしたいと思っています。どんな時でも、元気いっぱいの明るい笑顔でお客様と接したいと思います。

白糠のために貢献

公益財団法人釧新教育芸術振興基金（理事長・春日井茂釧路新聞社社長）は、釧路、根室管内の全高校から1人ずつ学業優秀な高校生を顕彰する釧新奨学賞贈呈事業を毎年11月に行っています。今春高校を卒業した受賞生22人の中から寄せられた進路や将来の抱負についての一文を連載で紹介します。（順不同）

霧多布高3年　小山内　済

私は以前から公務員を志望し、このたび、釧路管内町村職員採用資格試験に無事合格することができました。春からは地元の浜中町役場に勤め、町の発展に微力ながらも貢献できるように努力していく所存です。

現在の厳しい社会状況の中で浜中町が抱えている課題も数多くあります。まず、少子高齢化による人口の減少が挙げられます。また、本町の基幹産業である酪農業と漁業においても原油価格の高騰によるコスト高や輸入産物との競合による販売シェアの減少などさまざまです。さらに、昨年の東日本大震災において、本町も津波の被害を受け、防災対策の強化も喫緊の課題となっています。

町の魅力広く発信

私は、これから町全体の奉仕者として、こういった課題を少しずつ改善していけるように精いっぱい努力したいと考えております。また、課題を改善していくとともに町の魅力を広く積極的に発信していく活動も重要です。

本町は全国に誇れることが多く、大変魅力あふれる町です。例えば、天然記念物であるエトピリカをはじめ、エゾシカ、キタキツネ、タンチョウなど多くの動物が生息している、ラムサール条約登録湿地に指定された霧多布湿原をきれいに染めます。このようなたくさんの動植物を保護する活動もしていきたいと考えております。さらに、本町は、「ルパン三世」の原作者であるモンキーパンチさんの出身地でもあることから、ルパン三世のキャラクターを用いてPR活動を行っています。こうした多くの魅力をアピールし、全道・全国の方々に足を運んでいただいて、浜中町の魅力を肌で感じてもらいたいのです。

私は町民の方々が今以上に住みやすく、良い町だ、と感じていただけるようなまちづくりの実現を目指し、先輩職員の方々から多くのことを学び、一生懸命働きます。

思い思いのステップでダンスを楽しんだ参加者

思い思いに踊り楽しむ

釧路でオドラナイト第21夜

バンドやDJも

NPO法人浪花町十六番倉庫の活動を引き継いだ市民団体、十六番創庫N（宮越慶太運営委員長）が主催する「ODORA NIGHT（オドラナイト）第21夜」が10日、ホテル釧路ロイヤルイン（釧路市黒金町14）で開かれ、多くのダンス愛好者が懐かしい音楽で踊りを楽しんだ。

オドラナイトは活気があった時代を思い出し、元気な大人が増えることで釧路に再び輝きを取り戻そうと、2010年度末で活動を終えた同法人が開いていたイベント。ミラーボールや照明、お立ち台などで1970－80年代の踊り場を再現した会場では、飲んで踊って楽しむ人らで毎回にぎわっている。

この日は100人余りが参加。地元で活動するバンド「シビルズ」が2年ぶり、同じくベンチャーズ系のバンド「プロジェクト」が初出演し、名曲を披露した。バンドの合間にはDJも登場して会場を盛り上げ、幅広い年代の参加者は思い思いのステップで楽しいひとときを過ごしていた。（花城護）

防衛に理解深める

道東防衛議員連盟釧路圏支部研修会

自衛隊の役割説明

道東防衛議員連盟釧路圏支部（支部長・小松茂道議、83人）は11日、今年度2回目となる研修会を陸上自衛隊釧路駐屯地で行った。同駐屯地司令で陸自第27普通科連隊の眞部和徳連隊長（1等陸佐）の講話を聴いたほか、駐屯地で開催された後方・ラッパ競技会を視察し、防衛についての理解を深めた。

同議連は釧根・十勝・北網地区の国会議員、道議、市町村議による国防に関する勉強組織。釧路圏支部は釧路総合振興局管内の議員で組織し、同駐屯地で開かれるイベントなどに合わせて研修を実施し見聞を広めている。

この日は小松、戸田芳美、笠井龍司の3道議を含む32人が参加。講話で眞部連隊長は、東日本大震災の災害派遣やエゾシカ捕獲事業への参加など、自衛隊の役割について説明。地域との連携や日頃の訓練の積み重ね、人材育成の大切さを訴えた。

また、この日駐屯地では車両の整備や操縦、炊事、ラッパの技術についての競技会が行われており、参加者たちは隊員たちの訓練の成果を見学。広報資料館も視察して業務内容や地域・国際貢献活動についても学んだ。（高田薫）

隊員たちが日頃の訓練の成果を披露した競技会を見学する参加議員たち

巷論

海外に出てみては

ロンドンのうどんは高価

新年1月、私はヨーロッパ、アフリカ、カリブ、北米の3週間にわたる出張に出た。年に数回行う定例の顧客回りだ。

最初の訪問先はアフリカのルワンダだった。私が駐日ルワンダ大使館特別顧問をしているからだ。ルワンダへの行き方には何通りもあるが、今回はロンドン・ナイロビ経由で行くことにした。

乗り継ぎのため宿泊したロンドンでは、恩人の姪っ子が共同経営している讃岐うどんの店に顔を出した。ちょうど宿泊したホテルから徒歩10分のところにあった。

その恩人というのは、およそ10年前、当時、日本興業銀行に勤めていたKさんだ。Kさんは、私が幼児教室を立ち上げたとき百貨店と提携したいと相談すると、すぐに東急百貨店本店を紹介してくれた人だ。以来、私の幼児教室と東急本店の関係はいまだに円満に続いている。

そのKさんからの年賀状で、「姪っ子がロンドンで讃岐うどんの店を共同経営しているので、行くことがあったら立ち寄ってください」とのメッセージがあった。日本を出国した翌日だったので、日本食が食べたいわけではなかったが、せっかくなので顔を出した。

まず、驚いたのがその混雑ぶりだ。ちょうど金曜日の夜のせいで、ロンドンの繁華街ソーホー地区の飲食店はどこも満員だったが、1月の寒空の下、屋外に行列をつくっているのは、そのうどん屋「こや」だけだった。客の多くは現地の英国人だ。

次に驚いたのは味だ。歯ごたえのある本格的なうどんが、海外ロンドンで食べられる。

さらに驚いたのは値段の高さだ。かけうどんで6・7ポンド（約800円）。天ざるは13・6ポンド（約1700円）だ。盛り方が控えめだから、客単価は2000円を超えるだろう。超一等地の立地だから家賃は高そうだが、あれだけ混んでいれば儲かること請け合いだ。

私は、ロンドンのうどん屋「こや」に不景気の日本を乗り切るヒントを見た気がした。釧路の飲食店も、思い切って海外に進出してみるといいのではないか。いずれにしろ、まずは視察で、一度足を運んでみてほしい。（石井　至）

いしい・いたる　石井兄弟社社長　東京在住

〈釧新教育芸術振興基金のあらまし〉

当基金は、「釧新奨学基金」（1976年設立）と「釧新郷土芸術振興基金」（1972年設立）の両基金を統合して1982年11月1日に設立した財団法人釧新教育芸術振興基金が前身です。2010年12月1日、現在の公益財団法人に移行しました。基本財産1億円と運用財産、篤志寄付などを活用し、「釧新奨学賞」「釧新教育活動賞」「釧新郷土芸術賞」「釧新教育図書」贈呈事業と文化講演会などを行っています。

釧路市民憲章

一、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
一、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
一、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
一、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
一、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
一、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう

絵手紙
釧路市材木町
平澤　玲子さん

ボウリング

《パレスボウル》◇銀鈴クラブ第2例会　10時15分◇JLBCレディースクラブ第2例会　同◇道新文化センターボウリング教室　10時30分　19時◇プリランテクラブ第2例会　19時30分◇マスターズクラブ3月度月例会　20時◇HBF釧路支部3月度月例会　同

《X－BOWL》（イオンモール釧路昭和2F）◇練習会　20時

救急病院

《夜間救急病院》◇外科　釧路労災病院（中園町13の23　T22－7191）※18時～翌朝9時◇内科・小児科　釧路市夜間急病センター（住吉2の12　T44－6776）※19時～翌朝7時

保健手帳

《ぷらっと946献血ルーム》（イオンモール釧路昭和内）◇献血受付時間　10時～13時　14時～18時

◇400ミリリットル献血にご協力をお願いします。（フリーダイヤル0120－400－907）

【阿寒地区】《元気応援教室あおぞら（介護予防事業）》◇まりむ館　10時30分

【音別地区】《麻疹風疹混合予防接種》◇音別診療所　13時50分《第4回家族介護教室》◇社会福祉会館　18時

図書館バス

◇13時30分～14時10分　春日公園◇14時30分～15時10分　光陽児童館

【阿寒地区】◇10時20分～10時40分　阿寒湖小学校◇11時30分～12時　マリモ幼稚園◇12時35分～12時55分　子供交流館　阿寒湖中学校◇13時10分～13時40分　まりむ館・コロイ◇14時20分～14時50分　中徹別小学校

《釧路市鳥取温水プール》（T53－5333）◇はじめてスイム教室、スイム中・上級教室　11時20分　18時40分

《鳥取ドーム》（T53－5125）◇リターン・エース　10時30分◇ソフトテニスを楽しむ会　13時◇大楽毛若駒　18時

《たんちょう釧路空港》（T57－8304㈹）◇「タンチョウフォトコンテスト作品展」3階回廊ギャラリー（～31日）◇「懐かしい観光ポスター展」同（～31日）

《アクア・ベール》（T23－8211）◇㈱キープ・アイ会員の集い　9時◇ブライダルコーディネートフェアー　12時30分◇アクア・ベールランチバイキング　11時30分◇あくあcafeサラダバー　無料　同

《キャッスルホテル》（T43－2111）◇ジョブサロン北海道　就職相談会　9時◇創業60周年記念　釧路キャッスルホテルグループ大感謝祭ランチバイキング　11時30分◇チャイルズエンジェル理事会　12時◇ライセンスアカデミー進路相談会　14時30分

◇釧路ぬさまいライオンズクラブ傘寿・喜寿・還暦　祝例会　18時30分◇港倶楽部　四川中華日替わりランチ　11時30分　四川中華ディナーコース　17時30分

《釧路プリンスホテル》（T31－1275）◇レストラン　トップオブクシロ　ブッフェランチ　11時30分◇中国料理錦　フカヒレの煮込みの中華会席　17時30分

《全日空ホテル》（T31－4761）◇国際ソロプチミスト釧路アミティ理事会　12時◇釧路ニッカクラブ例会　18時◇釧路ベイロータリークラブ（習字　例会）18時30分◇サンティーユ　チョイスパスタランチ　11時30分◇雲海ひより膳　同　浮舟会席　17時◇藤　世界三大珍味と黒毛和牛のコース　同

【阿寒地区】《公民館》◇陶好会（T66－2222）　同◇阿寒サルルン画会　10時◇楽歩クラブ　13時30分◇ディスコダンス　13時30分◇サークル彩の会　同◇子供かるた　18時◇ポコ・ア・ポコ　19時

《阿寒湖まりむ館》（T67－4400）◇バンビクラブ　9時

《スポーツセンター》◇卓球愛好会（T66－3653）　10時◇シャトルサークル　13時◇ミニバスケットボール少年団　16時◇卓球少年団　17時30分　18時◇少林寺少年団　同◇バレーボールサークル　20時◇釧路ブラックファルコンズ　同

【音別地区】《行政センター》（T6－2231）◇所得税等申告相談（～15日）　9時

《福祉保健センター》（T9－5151）◇多目的集会室開放　10時

《ふれあい図書館》（T6－3435）◇おはなし会　14時

《森林体験交流センター》（T6－3344）◇ヤングママーズ　10時◇ミニバレー同好会　14時30分◇羽球同好会　19時◇ミニテニス同好会　同

【釧路町】《総合体育館》（T37－6665）◇卓球・ミニテニス　10時◇町バド協会　同◇さくらテニス　同◇ファットバーニング　同◇タンポポ　13時◇BMC　同◇釧路町柔道少年団　16時◇遠矢スパーク　同◇東高　同◇釧路町柔道同好会　19時◇クローバ　同◇町バレー協会　同

正妻

慶喜と美賀子

林　真理子作
山口　はるみ・画

－90－

ご簾中さま（3）

もしこの邸の中で、思わぬ形で夫となるべき男と出会ったらどうしよう……。延はそのことばかり考えるようになった。座敷から庭に降りようとする時、植え込みの陰から、竹刀を持った男が不意に現れたらと考えると、そのまま障子を閉めてしまう。

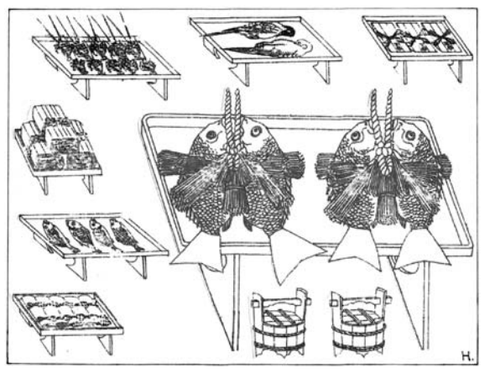
「君さんは、なんやここに移られてからお元気がなくなりました」

萩乃が心配する。

「なあ、宮路さん、そう思わへんか」

「そらそうどすわ。すぐ結納やゆうことでここに移ったんやから、今日にでもご使者がくると思いましたのに」

女たちとしては、京から持ってきた荷を早く解きたいところであるが、婚礼も済んでいないのでそうもいかない。手持ちぶさたの萩乃や宮路がすることといえば、せっせと京へ手紙を書くことだ。あちらでも江戸の大地震の報は届いていて、所縁の者たちは大層心配しているという。



「君さんも、一条の御所さんにお出しになった方がよろしいのと違いますやろか」

萩乃に言われて、一条忠香に手紙を書いた。

「まだ刑部卿とおめもじかなわず」

と綴り、あまりにもはしたない言い方であったかと書いたものを反故にした。

しかしその日のうちに静から結納の儀が唐突に知らされたのである。明日とり行うという。というものの、延はすることがない。それぞれの使者の間で、結納の品が取りかわされるのだ。薄い藍色の無地熨斗目に、同色の麻裃をつけた家老とご用人から結納の品々、昆布、鯛、首をひねった鴨、絹の巻き物といったものを受け取った。

作法どおりおすべらかしにし、白一色の衣裳で延は待ち受けていた。そして使者からの目録を手にする。

「幾久しゅうお受けいたします」

軽く頭を下げた時、延は確かに人の気配を感じた。

「あの人はすぐ近くにいる」

ここからそう離れていない座敷で、自分と同じように結納の品を今受け取った男がいる。それがもうじき自分の夫となる人なのだ。同じ屋根の下に住んでいてまだ会うことは出来ない。しかし確かに少しずつ近づいていることはわかる。結納は交わした。後は半月余り後の婚礼だけだ。その日はもうそこに迫っている。希望と不安の比重は同じで、どちらも大きい。延は息も出来ないほどになる。